

令和6年度 第7回教育委員会

日時 令和6年11月12日(火) 14:00~14:45

場所 町公民館・大会議室

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	岩切 康郎
	教育委員	横山 槿子	教育総務課長	野村 敏幸
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	佐藤 光久
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	麻生 昌秀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			社会教育課係長	井上 隆広
			議事録	藤田 脩斗(欠)

傍聴者 名

○開会の挨拶

○教育長挨拶

(教育長)

教育総合会議、クールビズ、綾町イベントでの小・中学生の活躍について触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

(教育総務課 係長)

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

(社会教育課 係長)

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

(教育長)

お米学習や有機農業推進大会でお世話になったJA青年部、5年ぶりの開催となった町民祭、照葉樹林マラソンでの小中学生の取組、防災訓練の避難者リスト、町民文化祭の伝統芸能、文教福祉委員の報告、部活動地域移行の今後の方向性、小学校体育館の台風被害による大規模改修について補足を行った。

(教育委員)

防災訓練について、各公民館に長期保存する水などはあるのか。

(社会教育課 課長)

女性連絡協議会の中で自治公民館で災害時の備蓄についての調査をしたところ、ほとんどの地区で備えをしていなかった。

(教育委員)

水は重く持って行くのも大変であるため、備蓄していた方が良い。

(社会教育課 課長)

危機管理係とも協議していく。

(教育委員)

照葉樹林マラソンについて、現代の子ども達は失業してると言われてるため、役に立つということで自己肯定感を高められるボランティアは素晴らしい。

(教育長)

委員の言われるとおり自己肯定感を高めることは大切である。

今度、行われる子ども会議で提案したことを役場と一緒に参画して取り組んでいく。

○協議事項

(教育総務課 係長)

- ・ 準要保護者の認定について

9月申請者が小学校2名、中学校3名、計5名。

小学校全体で62名、中学校全体で39名。

(教育総務課 主幹)

- ・ 学校教育の現状について

照葉樹林マラソンの映像を流し、町民の活躍についてプレゼンを行った。

中学校の授業参観バリアフリー化の実施状況、教育講演会の幼保での遊びを通した学びや体験について説明を行った。

令和4年度のスマートフォン所持率について、高校生が約99%、中学生が約91%、小学生が約64%である。

○その他

(教育総務課 係長)

- ・ 市町村教育委員研修会について、日程などの報告を行った。

次回の定例教育委員会の日程報告を行った。

(教育委員)

前回の定例教育委員会での保育所視察の際に、保育士が気になる子がいると言っていることが気になった。

特性はあるものなので、気になる子ではなく、特性を持った子として支援をしていくべきである。

(教育長)

委員の言うとおりである。

特性に合わせた支援ができていないところもあるので、しっかり対応したい。

そうすることで不登校率も下がっていく。

○閉会